

## 2. 野菜等の栄養成分表示に関する消費者調査

### (1) 調査方法と実施概要

#### 1) 調査方法と調査時期

消費者調査は、全国 47 都道府県を対象地域にそれぞれに地域から年代別、性別が均等になるよう対象者を選定した。調査時期は、2008 年 11 月から 12 月にかけて実施し、調査方法は、調査対象に調査票を郵送し記入後に返信封筒により回収する方法により実施し、2,649 人から回答を得、これを集計対象数とした。

#### 2) 調査対象者の属性

回答数 2,649 人の属性について性別で見ると、男性は 1,281 人 (48.4%)、女性 1,368 人 (51.6%) であり、また、年代別では、20 代 516 人 (19.5%)、30 代 526 人 (19.9%)、40 代 526 人 (19.9%)、50 代 545 人 (20.6%)、60 代以上 536 人 (20.2%) である。

### (2) 調査結果の要約

#### 1) 栄養成分表示ラベルについて購入時における参考程度 (Q1、SQ1.1)

野菜等のパッケージに栄養成分表示のラベルが貼り付けてある場合に、購入する際どの程度参考とするのかについて調査合計では、「参考とする」と「ある程度参考とする」をあわせると 67.3%と過半数を占め、「参考にしない」は 21.8%である。(Q1)

そこで、「参考とする」、「ある程度参考とする」と回答した調査対象者に参考とする理由について調査したところでは、「野菜等に含まれる栄養分を知ることができるから」が 74.3%と最も多く、次いで「不足しがちな栄養分を補いたい時の参考」63.3%、「栄養バランスのとれた献立を考える時の参考」41.8%の順である。(SQ1.1)

これを年代別にみると、「栄養分を知ることができるから」と「栄養バランスのとれた献立を考える時の参考」では、年代が上がるごとに回答割合も高まり、とくに 60 代以上で最も高く、高年齢ほど参考にしていることが注目される。

#### 2) 栄養成分表示の POP 表示について購入時における参考程度 (Q2、SQ2.1)

野菜等の販売コーナーに栄養成分表示のある POP 表示がされていた場合に、購入する際にどの程度参考とするのかについて調査合計では、「参考とする」(13.1%)と「ある程度参考とする」(57.2%)をあわせると 70.3%と高く、「参考にしない」は 18.0%である。(Q2)

そこで、「参考とする」、「ある程度参考とする」と回答した調査対象者に参考とする理由について調査した結果は、先に見た栄養成分表示のラベル調査結果と同様に、「栄養分を知ることができるから」が 72.2%と最も多く、次いで「不足しがちな栄養分を補いた